

2050年までに何をすべきか

カーボン
ニュートラル
CO₂
NEUTRAL

2021
9/20 月・祝
13:00-17:00

参加費無料

事前参加申込制

どなたでも
ご参加いただけます。

参加申込
方法

参加を希望される方は、9月15日（水）
までに下記 URL または QR コードより
事前申込をお願いいたします。
（対面・オンライン参加共通）
<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0123.html>



場所

京都大学
国際科学イノベーション棟
シンポジウムホール

＋ オンライン配信
併用

カーボンニュートラルは、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることである。ここで、「排出を全体としてゼロ」とは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いた、実質ゼロを意味する。カーボンニュートラルの2050年実現に向けて、政府や関係省庁は、電化の促進、電源の脱炭素化、再生可能エネルギーの最大限の導入、地域での再エネ倍増に向けた取組など、さまざまな技術の

社会実装施策を打ち出している。

今回の学術講演会では、こうした新たな技術の発展の中で、科学者と市民、自治体、産業界がどのように取り組んでいけるのか、対話を深めたいと考える。特に、関西では、万博を控えて、未来をリードすべく、さまざまなステークホルダー、あらゆる世代との議論にしていきたい。

開会挨拶

日本学術会議近畿地区会議代表幹事・
日本学術会議第三部会員・京都大学学術情報メディアセンター教授

小山田耕二

日本学術会議副会長挨拶

日本学術会議副会長・
東京大学未来ビジョン研究センター教授

高村ゆかり

趣旨説明

日本学術会議第三部会員・
大阪大学サイバーメディアセンター長

下條 真司

講演

基調講演

「カーボンニュートラルー持続可能な社会に向けて」
日本学術会議第一部会員・
大阪大学大学院法学研究科教授

大久保規子

話題提供 1

「住まいの脱炭素化への取り組み」
積水ハウス株式会社
環境推進部長兼温暖化防止推進室長

近田 智也

話題提供 2

「長期気候緩和シナリオ研究とカーボンニュートラル」
京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻准教授

藤森真一郎

話題提供 3

「Z世代と気候変動」
京都大学大学院地球環境学地球環境政策論分野・
Fridays For Future Japan

内藤 光里

パネル討論・全体総括

コーディネータ：

日本学術会議第三部会員・
大阪大学サイバーメディアセンター長

下條 真司

上記の講演者に加えて、

京都市環境政策局 地球温暖化対策室
エネルギー政策部長

永田 綾

日本学術会議連携会員・
神戸大学経済経営研究所副所長

西谷 公孝

閉会挨拶

日本学術会議第一部会員・
京都大学大学院法学研究科教授

高山佳奈子

総司会

日本学術会議第二部会員・
京都大学野生動物研究センター教授

村山 美穂

主催

日本学術会議近畿地区会議、京都大学

お問合せ先

日本学術会議近畿地区会議事務局（京都大学研究推進部研究推進課内）

Tel：075-753-2270 Fax：075-753-2042 E-mail：kensui.soumu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

後援

公益財団法人日本学術協力財団